

(様式2(1))

事業所名 グループホーム そよかぜ

作成日: 平成 27 年 3 月 11 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画、モニタリング等の周知が職員全体に行き渡っておらず、利用者の状態の変化に早期対応ができていない。介護計画の確認、モニタリングの実施が不十分。	全入居者の状態の変化の把握と早期の対応	介護計画、モニタリングの周知のための勉強会、研修を教育委員会とケアマネが中心となり開催する。 全入居者について、月1回程度のモニタリングを実施し、介護計画の確認をケース担当中心で行う。	12ヶ月
2	8	権利擁護及び成年後見制度に対する知識、理解が不十分。活用や支援が必要と思われる人が現れた時の備えが不十分。	全職員が権利擁護、成年後見制度を周知し、様々な状況に対応できるようにする。	教育委員会が中心となり、施設内研修、勉強会等を開催し、職員の知識と理解を深める。	6ヶ月
3	4	近隣及び地域住民、施設等に当施設としての情報を発信できていない。当施設への理解を得ることが不十分。	運営推進会議において、地域の近隣等に様々な分野の人の参加を呼びかける。	施設便りの発行(少なくとも年2回程)の配布を行い、施設への理解を持って頂き、運営推進会議等の参加を呼びかけ、そこでの意見をサービス向上に活かせる様に取り組む。	12ヶ月
4		避難誘導等訓練の定期的な実施ができていない。地域施設、近隣住民との協力体制が確立されていない。	災害時における、近隣住民及び地域施設への応援体制を整える。	防火管理者の指揮、指示のもと近隣住民、周辺施設への参加を依頼し、協力を得ながらの避難訓練を実施する。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。